'73 8
No. 15
昭和48年8月1日発行
発行　横越村役場

広報よこごし

おもな内容
1.夏期交通安全対策（P1）
2.総合小建設請負業者決る（P2）
3.優秀農家の横顔（P2）
4.20才になったら国民年金に加入を（P3）
5.横越野球ク、高松宮賜杯県大会で準優勝（P4）
6.文化財調査審議委員長決る（P4）
7.成人式のご案内（P4）

事故ゼロを誓う

交通事故安全県宣言記念村大会

▽横越村交通安全対策協議会では、交通安全県宣言を記念し、あわせて交通事故△
▽防止の意識を高めるため、村内のドライバー関係者、および各機関の役員等か△
▽らなる多数の関係者が出席して、大会を開きました。当日は、交通事故候性者△
▽のめいふくを祈って全員が一分間の黙禱をした後、村内小中学生の交通安全入△
▽選作文の発表（代表三名）と入選者の表彰を行ない、ついで無事故の優良運転△
▽手の表彰伝達がありました。また、記念講演には亀田警察署長から、交通法規△
▽にもとずく運転者の心得や、自転車乗りの心得、歩行者の注意事項などのお話△
▽しがありました。

交通事故をなくそう

夏場に多い事故

大事故＝疲労.寝不足.暴走.飲酒

ぼくら、わたしたちは

心からうったえます

交通安全作文に入選した者で、小学校低学年の部、および高学年の部、中学校の部のそれぞれの一等入選者から、作文の朗読発表があり大会に集った人たちは、真剣にうったえる児童生徒の心にうたれ交通安全対策の重大さを強く認識させられました。

交通安全作文入選者

◇小学校低学年の部
一等 むとうみゆき　横越小一
二等 石塚　正浩　横越小三
三等 今井　直人　木津小三

◇小学校高学年の部
一等 目黒　照美　木津小六
二等 高橋真佐子　横越小五
三等 関根不二子　小杉小四

◇中学校の部
一等 羽賀　進　三年
二等 桜井　豊　一年
三等 五十嵐　満　二年

◇佳作
高橋　寿夫　横越小六
柄沢　一生　〃　五
武藤ふみ子　〃　二
遠藤　裕彦　木津小五
東城　玲子　〃　四
内山さき子　〃　二
石倉恵美子　小杉小六
遠藤真由美　〃　五
渡辺恵美子　〃　三
宮沢　聰　〃　二

交通安全入選作文

あぶなかつたゆかちやん

横越小一年　むとうみゆき

ゆかちゃんが、くるまにひかれそうになったことをいまでもわすれません。

それは、まつぐみのときでした。

ゆかちゃんが、「みゆきちゃあん。」といって、みぎひだりをみないでどうろをよこぎって、わたしのうちへくるときでした。

ゆかちゃんは、かわねやちのほうからきて、くるまははんたいのほうからきました。

わたしは「ゆかちゃん、あぶないよ。」といいましたが、きこえませんでした。

そのとき、キューッとくるまがきゅうブレーキをかけてとまろうとしました。わたしは、ゆかちゃんがひかれるとおもってめをつむりましたでもひかれないでよっかたとおもいました。

そこは、おまわりさんのすぐそばなので、ゆかちゃんは、おまわりさんに「みぎ、ひだりをみないで、とびだしてはだめだよ。」としかられました。

一ねんせいになってからが、がっこうのプランコにのっているときに、ダンプがヒューッとはしってくると、むねがどきどきします。

村公報

意欲的な青年活動を期待したい。去る七月始、北海道内ロッヂで、村連合青年団のリーダー研修会に参加更に七月十五日郡連球技大会で、青年団諸君の積極的な活動に接することができました。本年度は青年団組織の拡充を目指して団員の増加に努力し現在約二百名を数えております。

県内各市町村の青年団活動が漸次衰微していく状況の中で村の青年団が充実していくことは誠に頼しいことだと思います。

青少年の育成は村づくりの基本であります。青年諸君が健全に成長し明かるい村づくりに向って、意欲的な活動を続けている事は、横越村の将来を非常に明るいものにすると思います。

最近、青少年が、社会への不安感から無気力、虚無的になり、刹那的な行動に陥り易いといわれております。然しわが青年団諸君と研修会で話し合った限りでは、皆着実な考えを持ち、意欲的な行動をし、青年団活動への期待を持って活躍しており、球技大会では力を合わせ競技に熱中しているようすに、本当に力強さを感じました。

青年諸君がこの団組織の中でメンバー相互の和やかな人間関係をつくり、集団の中での個人の役割や責任を自覚し国の発展のため個人がどれだけ自覚するか、若い者の運命感を養う意味でも大きな社会的意義を持つであろう。そしてこのことが、やがて将来横越村の村づくりに役立ち、村の発展充実に役立つことであろうと期待するものです。

青年団活動が益々進展し、未組織の青年諸君もあわせ加えて活発な活動を続けていくように、そして村民の皆さんもこの活動に理解を深められ暖かく見守って頂くようにお願いしたいものです。（団長）